

『自分も友達も困らない頼み方をしよう』

1. 展開案

過程	学習活動	教師のはたらきかけ	留意すること
わかる	1. 本時のめあてを知 る。	○友だちに頼みたいことがあるとき、どうして いますか。頼みたい気持ちが伝わらずに困っ たことはありませんか。反対に頼まれていや な気持ちになったことはありませんか。 ○自分も困らなくて、友だちも困ったり、嫌な 思いをしたりしないような頼み方を学習し ましょう。	・手助けを借りないでそのま まにしていると困ること や、命令口調では相手が嫌 な気持ちになったり、相手 の都合を考えていなかったり することをさえる。
自分も友だちもこまらないたのみ方をれんしゅうしよう			
	2. モデリングを見て、 頼み方のポイントを知 る。 【モデリング】 I 頼まないでじっとし ている。 II 乱暴に頼む。 III ポイントを使って頼 む。	○人との関わり方の学習をするときの約束を 確認します。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ひやかさない ・はずかしがらない ・よいところを見つける </div> ○今から3つの頼み方をやってみます。どの頼 み方がよいと思いますか。頼む人の様子を見 てください。 ○3つの頼み方のうち、どの頼み方がよかつた ですか？ どうしてその頼み方がよいと思っ たのですか。 ○頼み方のポイントをまとめてみましょう。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">【頼み方のポイント】</p> <p>① 頼まれて相手が困らないか考える →ごめん…ちょっといい？よかったら…</p> <p>② 頼みたいことをはっきりさせる →(色鉛筆を貸してほしい)</p> <p>③ 命令ではなく、お願いする →色鉛筆を貸してくれない？</p> <p>④ 理由を言う →この前、家に持って帰ってしまって…</p> </div> ○この4つのポイントだけでなく、きちんと相 手を見たり、表情、身振りをつけたりすると、 もっと気持ちが伝わります。	・実際に行動できるようにす るためには、しっかり練習す ることが大切であるという約 束の意義を伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>※モデリングシナリオ参照</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・相手役は事前に頼む。 ・モデリングは、ポイントが わかりやすいように、違い をはっきりさせて大げさに 演じる。 ・ポイントと同じ内容はモデ リングを見て児童がよかつた 点として挙げた言葉に変 えてよい。 ・モデリング③の台詞を使っ てそれぞれのポイントにつ いて簡単に説明を加え、具 体的にイメージをもたせ る。 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉だけではなく、声の大 きさや表情、身振り手振り などの非言語の面も大切で あることを押さえる。
や っ て み る	3. 頼み方のポイント に気を付けながら練 習①をする。	○4人グループになり、「頼む役」「頼まれる 役」と「見守る役」に分かれ、練習をします。 「見守る役」の人は、「頼む役」の人をよく 見て、よかつたところを伝えましょう。 ○どの役も体験してほしいので、役割は順番に	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>※ワークシート参照</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「見守る役」はがポイント を使っていたかどうかを目 を向けさせる。 ・スムーズに進めるために役

	<p>4. 練習①を振り返り、話し合う。</p> <p>5. 頼み方のポイントに気を付けながら練習②をする。</p> <p>6. 練習②を振り返る。</p>	<p>まわします。</p> <p>○1回目の練習を振り返りましょう。気持ちのよいたのみ方ができましたか。グループで上手だった人を紹介してください。</p> <p>○△△さん、□□さんの頼み方がよかったので、紹介します。</p> <p>○2回目がんばりたいポイントを決めましょう。</p> <p>○場面を一つ選んで、がんばりたいポイントに特に気をつけて練習しましょう。</p> <p>場面1：プランターを運ぶように頼まれたけれど、一人では重いので手伝ってほしい。</p> <p>場面2：2段とびができていくか見てほしい。</p> <p>○2回目の練習を振り返りましょう。</p>	<p>割の回し方を示しておく。</p> <p>※ふりかえりシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上手に頼めていた児童を紹介する。 ・頼み方のポイントに加えて表情や行動を工夫している児童がいれば、賞賛して紹介する。 ・プランターやなわとびなど練習②をするときの小道具を準備し、意欲を高める。 ・机間指導をしながら、ポイントを意識して使っている児童をほめる。
<p>ふりかえる</p>	<p>7. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日学習したことを振り返りましょう。</p> <p>○頼み事をするとき、このポイントを使って頼むと自分も相手も困らずに気持ちよく頼み事ができます。</p> <p>○忘れ物をして借りるときや、道具を運ぶときに手伝ってほしいときなどに使えそうですね。</p> <p>○今日学習した頼み方の4つのポイントを使ってチャレンジ週間をします。チャレンジ1では、朝の会で「おたのみゲーム」をします。チャレンジ2では学校や家で、友だちや家族に頼み方の4つのポイントを使って実際に頼んでみることに挑戦しましょう。</p>	<p>※チャレンジシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の感想を紹介し、ポイントを使って頼むよさを確認する。 ・頼み方をどんな場面で使えるか想起させ、生活で実際に使うことを意識させる。 ・朝の会でおたのみゲームすることや実際に頼んだことを記録しておくチャレンジ週間の説明をし、意欲を持たせる。

2. モデリングシナリオ

モデリングシナリオ

場面設定：社会の時間

色鉛筆を使って作業をする。ところがAは色鉛筆が机の中に入っていないかった。。
となりの席の人は、とっても仲がいい友だちというわけではない。

役 割：先生役

となりの人に頼む役・・・A

今は社会科の時間です。先生が学校の周りの地図を描いたプリントの山や川に色鉛筆で色をぬるように言われました。ところが机の中を見ると色鉛筆がありません。この前、家でぬり絵をするので、持って帰っていたのです。このままでは、色を塗ることができません。となりの席の人はとっても仲がいい友だちというわけではありません。

さあ、あなたならどうしますか？

モデリングⅠ 頼まないでじっとしている。

机の中をさがして色えんぴつがないことに気づく。
きょろきょろと周りを見るととなりの子が持っていた。
となりの子に話しかけようとするが、止める。

モデリングⅡ らんぼうに頼む。

机の中をさがして色えんぴつがないことに気づく。
きょろきょろと周りを見るととなりの子が持っていた。
となりの子の色いろえんぴつをさっと取る
おどろくととなりの子へ「ちょとかせ！」と喋り借りる。
かりた後は投げて返す。

モデリングⅢ やさしい頼み方のポイントを使って頼む。

(相手が困らないか考える・頼みたいことをはっきりさせる。命令ではなくお願いする。理由を言う。)

机の中を探してないことに気づく。
きょろきょろと周りを見つめると隣の子は持っていた。
「ごめん・・・よかったら、色えんぴつかしてくれない。
この前、家に持って帰ってしまって・・・
かしてくれたら、とても助かるんだけど。」と言って、貸してもらおう。
「ありがとう」と言って返す。

3. やさしい頼み方の場面のアレンジ例

「⑨やさしい頼み方」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

- ・委員会活動で大きな仕事をしなければならないとき
- ・自分だけではできそうにないことをしなければならないとき
- ・一人では難しい課題に取り組むとき
- ・分からないことを教えてもらいたいとき
- ・何か貸してもらいたいとき
- ・自分より友だちの方が近いものをとってもらいたいとき
- ・何かをしていて手が離せないときに代わりに何か頼みたいとき